

## 令和5年度 第1回駒ヶ根市自治組織の在り方検討会 会議録

日時：令和5年12月21日（木）19時～20時40分

場所：駒ヶ根市役所大会議室

出席者：委員28名、伊藤市長、事務局5名、傍聴1名、報道3社

### 目次

1	開会	.....	1頁
2	委員の委嘱	.....	1頁
3	市長挨拶	.....	1頁
4	自己紹介	.....	3頁
5	設置要綱について	.....	3頁
6	座長及び副座長の選任	.....	4頁
7	検討事項	.....	4頁
	（1）検討会の進め方について	.....	5頁
	（2）市民アンケート、自治組織向け調査の調査結果について	.....	5頁
	（3）各委員より在り方検討会参加に当たって一言ずつ	.....	5頁
8	その他	.....	18頁
9	閉会	.....	18頁

## 令和5年度 第1回駒ヶ根市自治組織の在り方検討会 会議録

日時：令和5年12月21日（木）19時～20時40分

場所：駒ヶ根市役所大会議室

出席者：委員28名、伊藤市長、事務局5名、傍聴1名、報道3社

### 1 開会

**竹村課長** どうも皆さんこんばんは。年末のお忙しいところ、また夜分にも関わらず、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

令和5年度第1回駒ヶ根市自治組織の在り方検討会を開催させていただきます。

座長、副座長が選出されるまでの間、進行を務めさせていただきます。総務課長の竹村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに委嘱書の交付を行います。

この検討会の委員は、設置要綱に基づきまして、様々な立場から選出された29名でございます。

委員の任期は、在り方検討が終了するまでとしております。

また補欠委員の任期は前任者の残任期となります。

### 2 委員の委嘱

**竹村課長** それでは市長から委嘱書の交付を行います。委員を代表して、南割区推薦の林英之さん、よろしくお願いいたします。正面にお進みください。

**市長より林英之委員に委嘱書を交付。**

**竹村課長** それでは時間の関係もございまして、その他の委員の皆様は、委嘱書を机の上に準備させていただいておりますのでご確認ください。

### 3 市長挨拶

**竹村課長** それでは、駒ヶ根市長よりご挨拶を申し上げます。

**伊藤市長** 皆様こんばんは。

年末、しかも平日の夜この遅い時間にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。御礼を申し上げます。

この自治組織の在り方検討会。今回、これから立ち上げるわけではありますが、このコロナ禍の中で、3年半、4年近く。この人と人との繋がりが、なかなか結びにくくなってきた時代であったと思います。私も市長に就任してほぼ同時に、このコロナ禍に突入したということで、様々、試行錯誤を繰り返しながら取り組んで参りました。

そういう中で、人と人との繋がり、地域社会コミュニティのあり方というのが、ウィズコロナ時代を迎えて、改めて大きく問われているということ、強く感じております。

誰もが、この自治組織、コミュニティは必要だと、この繋がり是一直いてほしいと思っておられることだと思います。

ただ、様々ないろんな事情も、いろんな価値観の違い、それぞれの思いのすれ違いの中で、特にウィズコロナという時代を迎えて、大きくそこどころが問われているというふうに考えます。

しかし、防災であれ、様々な行動のときには、やはりこの地域の繋がり、人と人との支え合いというのは、不可欠であります。人はなかなか1人だけでは生きていけないものであります。

そうした繋がりを、この時代の大きな節目に、皆さんと一緒に考えて、そして、新しい時代にふさわしい形で見直し、作り変え、そして20年、30年、40年経っても、駒ヶ根市のコミュニティは、しっかりあるんだという形を、皆さんと共に作って参りたいと思います。

駒ヶ根モデル。それをぜひ目指して参りたいと思います。これは、全国各地、いろんな場所で、同じ悩みを抱えておられることと思います。「駒ヶ根市がそのモデルを作る。」と、それぐらいの意気込みで、この検討会を始めたいと思っているところがあります。

なかなか、今日、明日、すぐに結論が出る話ではございません。1年、1年半、2年かかってもいいと思っております。皆様方のお知恵をお貸しいただいて、次へ繋ぐ組織の在り方を作って参りたいと思っております。

アドバイザーには、松本大学の白戸先生にお願いをいたしました。私も記者時代から存じ上げている先生で、自治の現場に入って、自ら一緒に悩まれ、考え、行動される先生であります。まさに、この取り組みにふさわしいと思ひまして、お願いをいたしました。

是非、皆様も、リラックスをしていただいて、あまり構えずにですね、それぞれの想いを自由にお話しただければ、それが明日に繋がっているというふうに考えております。いろいろとご負担をかけることもあるかと思いますが、是非、趣旨を汲んでいただきまして、お力をお貸しいただきますよう、よろしく申し上げます。

ありがとうございます。

#### 4 自己紹介

**竹村課長** 続きまして、4番の自己紹介でございます。別紙に委員名簿がございますのでご覧ください。

ここで、お一方ずつ自己紹介をいただきたいところがございますが、7の検討事項の中で各委員より、在り方検討会参加にあたってご発言をいただく機会がございますので、それに合わせて後ほどお願いをいたします。

それでは、委員名簿の選出区分について補足説明をさせていただきます。

市内各区からの推薦が16名で、市民からの公募は8月に実施しました市民アンケートにご協力いただいた、自治組織に加入されていない皆様の中から4名になります。

次に、地域を支える団体としまして、消防団、社会福祉協議会、支え合い推進会議、それから、以前から自治会の加入促進などについてご研究をされております、よいまちづくり懇談会からの推薦4名になります。

その他、様々なお立場から、子育て世代、移住者、大学生、一般企業からの4名の皆様にも参画をしていただいております。

また、この検討会のアドバイザーといたしまして、白戸洋先生にご参加をいただいております。

別紙のプロフィールをご覧ください。

先生は松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授であります。地域開発、コミュニティ開発の専門家として、国際的に活躍されており、現在は国内の様々な地域課題においても取り組まれており、幅広い見識をお持ちでございます。

よろしく願いいたします。

なお、町2区推薦の木村委員は、本日欠席、福岡区推薦の坂本委員は所用により少し遅れると連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

## 5 設置要綱について

**竹村課長** それでは5番の設置要綱につきまして説明いたします。資料1の2枚目にあります、駒ヶ根市自治組織の在り方検討会設置要綱をご覧ください。

第1条と2条では、設置と用語の意義が規定されております。

第3条では、検討会の目的が規定されており、「組織の在り方」、「自治組織と市の連携」、「その他自治組織の抱える課題の解決」に関する事項の検討及び提言を行うものでございます。

第4条の組織、第5条の任期は先ほどの説明のとおりでございます。

第6条では、座長及び副座長の選出及び役割、第7条では、部会を置くことについて、第8条では会議について、第9条では庶務について規定されております。

設置要綱の説明は以上とさせていただきます。

## 6 座長及び副座長の選任

**竹村課長** 続きまして、6番の座長及び副座長の選任でございます。

設置要綱の第6条の規定により、委員の互選により選出することとされておりますが、いかがしたらよろしいでしょうか。

特にご意見はないでしょうか。それでは事務局に腹案がありますので、発表させていただくような形でよろしいでしょうか。それでは発表させていただきます。

座長に町一区推薦の森岡強さん、副座長に小町屋区推薦の岡田敦子さんをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。それでは皆様の拍手をもって承認していただければというふうに思います。

#### (拍手)

それでは座長、副座長、正面の席にお着きください。

**森岡座長** ただいまご指名いただきました。町一区推薦の元区長でありますけれども森岡と申します。よろしく願いいたします。

**岡田副座長** 小町屋区の推薦で来ました。岡田敦子と申します。よろしく願いいたします。

**森岡座長** それでは着座にてよろしくお願ひします。

**竹村課長** それでは7番の検討事項以降、森岡座長、議事進行をお願いいたします。

## 7 検討事項

**森岡座長** それでは検討事項の順番に従いまして進めさせていただきます。それでは検討事項に入ります。時間に限りがありますので、事務局からの説明は明瞭、簡潔にお願いいたします。

委員の皆様には、事務局からの説明後、ご発言をいただく時間を設けますが、アンケートの結果から見えてくる課題整理の詳細は、現在事務局が行っておりますので、本日はアンケートの結果についての感想や課題整理の方向性についてのお考え程度にとどめていただければと思います。見ていただいたように、とても厚い調査結果となりますので、会議終了後、ご自宅でもご覧いただき、お気づきの点があれば事務局までお知らせいただきたいということでもあります。

### (1) 検討会の進め方について

**森岡座長** それでは(1)に入りたいと思います。検討会の進め方についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

## 事務局より資料1、資料2により説明

**森岡座長** 説明が終わりました。ご感想など発言のある方は、後ほど発言の際に一括でお願いしたいと思います。

### (2) 市民アンケート、自治組織向け調査の調査結果について

**森岡座長** それでは次第に沿いまして(2)になります。市民アンケート、自治組織向け調査の調査結果についてを議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

## 事務局より、自治組織に関する市民アンケート調査、資料編、自治組織に関する市民アンケート調査分析、自治組織向け自治組織の在り方に関する調査、資料編により説明

**森岡座長** 説明が終わりました。ご感想などご発言のある方は、この後の発言の際にお願いいたします。

### (3) 各委員より在り方検討会参加に当たって一言ずつ

**森岡座長** それでは(3)に入りたいと思います。各委員より、在り方検討会について一言ずつということで、いただきたいと思います。自己紹介や、今回の在り方検討会への参加にあたっての抱負などですとか、先ほどの資料説明のご感想等をいただければと思います。恐縮ですけれども、大人数の会議でありますので全委員の皆さんに発言をいただくため、おひとり2分以内でお願いしたいと思います。2分でもかなり人数がいますので、9時になってしまうと思います。そここのところは調整をしていただきながらというふうに思います。

発言をいただく順番ですけれども、綴じ込んだ資料の3枚目に座席表がございます。ご覧ください。

名簿と座席の順番が違っておりますので、座席のほうでスタートさせていただきたいと思います。私から向かって右側の南割の林さんからよろしく申し上げます。

**林委員** はい、皆さんこんばんは。南割から推薦で参りました。林英之と申します。

一応こちらの名簿では、環境美化推進連合組合の長であります。私自身は上伊那郡PTA連合会の会長並びに駒ヶ根市認定農業者の会会長など、そうした組織へ参画させていただいております。

やはり、自治会の問題は私も強く感じておりました、どんどん高齢化もする、また、自治会で、実は特にゴミの関係でも、入っている人が損をしているような、そういう雰囲気を感じております。

なので、明確なメリット、デメリットを一旦整理する必要と同時に、アンケート結果を見ても同じですけれども、役員の負担、またその選出といったことで、全体で取り組むことと、あとは各地区の独自に取り組むこと。その差が非常に明確に分けて考えていかなければいけないと思っております。

私個人としては自治会の事務局員制度。そうしたものを創設して、役員の負担を軽減すると同時に、また、連続した自治会活動の事務的なものを引き継ぎとか、特に区長さん副区長さん、傍から見ても、本当に大変だなと感じております。慣れないところで1年が終わり、また慣れない人がやってくる。その負担のあり方とか、もう待たなしで変えていかなければ、そのうち誰かがやってくれる、誰かが直してくれるだろうでは、成り立たない。そうした時期が来ていると思っております。

いろんな組織を見ても、誰かがやってくれる、誰かが何とかしてるといった、他人任せな社会が今、非常に強く感じられております。

なので、今ここにお集まりになった方々と一緒に、ここから自分たちのことをしっかり考えていく。そうした社会に、駒ヶ根市にできるように、自分なりに頑張っていきたいと思っております。是非ともよろしく申し上げます。以上です。

**新井委員** 中割から参りました新井敬子です。

自治組織の在り方はいろいろ考えがありますが、また徐々にと思っております。非常に膨大な資料の整理をありがとうございました。ご苦労さまでした。

こういった類の委員会は、結果が出てこないものですから、できましたら毎回、終わりの時間を決めていただいて、きっちり会議を進めていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

**小原委員** 北割二区選出の小原静雄でございます。現在は副区長をやらせていただいております。今年は五十鈴神社のお祭り等ありまして、大変いろいろ行事も多かったわけです。自治組織の在り方検討会ということで、考えていかなければいけないことを、数多く学びたいと思っております。

また役員となりますと、何のための役員をやっているかを知らない方が、かなりいることが分かりました。

自分もなって初めて、この役はどうやるかということ、どの程度のことをしなければいけないかが、最初は分かりませんでした。なければいけない役もあると実感しております。

その点で、検討会が済んで、皆さんが例えば、どの役が何をやってるかを理解できるような地域の方向性に持っていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

**中嶋委員** 北割一区の中嶋隆と申します。よろしく願いいたします。

あまり何も考えてはいないのですが、そもそも、この検討会をやること自体が役員の負担が増えるという、不思議な現象が起きているということで、これ自体が考えものかなという気がします。

それからもう一つは、何のためにこれを行ったのかという目的が、どこにも出てこないということです。まず目的があって、このアンケートをやっているということだと思いますが、目的をはっきりさせないと、どこへ行くのかが分かりません。

我々が最後に行き着く姿は、明確には分からないでしょうが、漠然と描いた自治会の将来像というのはどんな形なのだろうというのが、まだ私自身も描けていないというところもありますけど。何かみんなで共有できるような、同じタイプだけでなくもいいとは思いますが、こんなふうになっていけばいいなというものが描けないと、最後、新井さんが言ったように、答えがあるような、ないようなという話になってしまうと思います。皆さんと一緒に楽しくできればと思います。よろしく願いいたします。

**坂本委員** 福岡区の坂本裕彦です。今日は遅れてきてすみませんでした。

実は福岡区の自主防災会の全体会というのをやって、挨拶だけしてきたんです。自主防災会の在り方検討会を令和4年にやって、令和5年度の今年は、次年度からどうするかという規約改正とか、そういうことを決める全体会が今日でした。

福岡区は、この自主防災会もそうですけれど、行事のことも、これも在り方検討会というのをやりました。やったら、「行事を減らすばかりがいいのか」とか、いろんな意見が出て。魅力ある行事とはどういう事か。だから、行事の数とかそういうことではなくて、どういう行事やイベントとか、どういうものが区民に喜ばれ、また参加したいと思うかということをやりました。

令和4年度から変えてやりだし、なかなかうまく行かないのが現状です。やはり自分たちの地域は自分たちで考えてやる以外ないというのは、今までの経験からですけども。こういう場でいろんな経験を交流しながら、「こういうことであればいい」とかいうことじゃなくて、「自分の地域には、どういうことが合っているのか」とか、「魅力に感じてもらえるのか」、そういうことを、経験・交流をしていただけたらと思います。



それから自治組合の負担軽減では、福岡区では八つの自治組合があるんですけど、二つの自治組合は、連絡員として、正規の自治組合の扱いではなくて。いろんな役員会は出席せず、いろんな行事などは、連絡員さんに自治会長さんと同じように関わっていただくという事をやっています。そういう意味で負担軽減とか、あるいは貸家の方は、持ち家と貸家とあって、区費も違うんですね。

だから、いろんなことを自分たちの地域で、どういうしていくのが、皆さんが参加しやすい環境作りになるかという事に、頭を悩ましているところですけど。皆さんと一緒に考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

**気賀澤委員** こんばんは。市場割区の気賀澤稔夫です。今年は副区長ということでお世話になっております。自治組織の在り方検討会ということで、区の中でも自治会長達とちよくちよく話が出るんですが、市場割区としても自治会自体がもう崩壊している自治会が存在してきています。なので皆さんたちからいろんなご意見を聞きながら、こんななものもいいのかなというふうに、考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

**北平委員** 上赤須区の北平浩幸と申します。私は、今年は自治会長で、区の会議等、毎月入りながら見させていただきました。私が思ってるのは、私は会社の役員をやっていますが、企業は役を持っていると、それなりの処遇で、その処遇を持って物事をやるので、責任といわゆる給与という処遇が連動しています。実を言いますと、自治会の役員はボランティア、しかも平等性がないボランティアです。この状態が非常にひずみを持っているということを感じております。今回のこういった形の中で、自治会の役員、またはその仕事の進め方、こういったことを考えなければいけないと感じます。

一方、企業から見ていくと、非常に無駄な配布物が多い。配布物や回収の業務は、自治会、隣組長の方たちの業務のほぼ半分ぐらいを占めています。今ケーブルテレビ等ありながら、情報を発信する Line もある。そういう状況で、企業はほとんどテレワークで 50%しか会社に行かないということを、既に我々の会社も進めております。そういう方法で合理化できることは合理化して、コミュニティでやらなければいけないことは何があるか、それを密接にやるというメリハリをつけていくことを、是非この中で、できればと思います。今後ともよろしくお願いします。

**戸枝委員** 下平の戸枝まゆみと申します。うちの区でも区長さんが、この役を誰にするかというので困っていて、だんだん私まで回ってきて、今回、出て参りました。それぞれの区でも、区の中で常会でも、いろいろとやり方が違うと思いますが、地域の

繋がりはとても大事なものだと思っておりますので、皆様と一緒に考えて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

**中村(安)委員** 町三区の中村安満と申します。私は令和3年に町三区の区長をやりました。令和2年から、ご承知のとおりコロナということで、令和2年はやはりコロナの正体が全く分からなくて、行事などを皆やめるということになりました。令和3年になって、少しコロナの中身が分かってきて、感染対策を講ずればいいという中で、事業の再開を少しずつ見直しながらやってきました。やはり令和2年、令和3年に、コロナだから事業をしないということが、もう当たり前になってしまっていて、それが故に、地域のコミュニティでは、隣近所のおじさん、おばさんと会って話をすることもなくなってしまった。そうすると余計、区の事業をやっても人が集まらなくなってしまったというような状況でした。やはり、自治組織は人と人との繋がりというのが一番大事じゃないかなと思っています。

その中で、私は役員を経験したわけですがけれども、ある程度の役員の負担は仕方ないと思ってやってきました。ただ、今の人たちは、その負担が重いと感じる人が多くなってきていると思います。

また、自治組織の在り方を検討する中では、やはり自治組織と市役所、行政との線引きというのがどうしても、否が応でも出てきます。そこを、市当局がどういうふうを考えていくかということも、一つ大きな課題であると思いますので、いろいろご意見を聞きながら検討させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

**加治木委員** こんばんは。町4区の加治木今と申します。よろしくお願いいたします。

町4区では市議員をやっていた関係で、相談役をずっとやらせていただきまして、歴代の区長さん方ともお話をしてきました。そして今は高齢者のサロンとか自主防災会に関わっております。

皆さんのお話をお聞きしている中で、役員のなり手不足はうちの区でも苦労しているところですが、やはり地域コミュニティが一番必要な部分は、先ほどのアンケートにもありましたが、高齢者の支え合いとか防災に関しては、本当にコミュニティがないと成り立たないと思います。

そんな中で、それに対して、どうやって実施していけばいいのかということと、先ほど出ましたけれども、事務局員制度という、お金を払って、その地域の運営を担う人が誰かいるといいのではないかと、そういう方向性もこれから必要になってくると思いました。

この場所でいろいろな勉強をさせていただきながら、地域の方にご報告していければと思っております。よろしくお願いいたします。

**下井委員** 上穂町区の推薦を受けました下井幸一と申します。よろしくお願いいたします。

今現在、区長をしながら市の方では、駒ヶ根市区長会の会長を仰せつかっております。

今年の2月あたりから、私は初めての経験で区長になりましたけども、確かに、さすがに目が回るというか、ものすごいことでした。特に6月頃までは、各団体でも総会はあるし、区の中の仕事に加えて、区の外の仕事。それから神社の仕事などがあって、最初は目が回るくらいの状況でした。書類はたまる一方で、最近やっと片付いてきました。

役員の負担を少なくするという方向性があると思いますが、是非、役員のなり手を確保するためにも、ある程度、効率化が必要ではないかと思っております。

それから上穂町区では、令和2年から中止してきた行事を、他の区と同様に、今年度からほぼ全て、再開しています。再開するにあたって、やはり賛成意見と反対意見がある中で、非常にどうするか役員の皆さんと話をしながら方向性を決めてきました。先ほどのお話もありましたが、このコロナが教訓になって、本当に必要な行事なのかどうかを考えるきっかけになったのではないかと思います。

ただ、災害時の対応に関し、通じることでもありますので、隣近所が知り合うとか、区の中の人がよくお互いを知っているということは必要だと思います。その、ふれあいの場作りというのは、行事を少なくするという方向の中でも、確保していく必要があると思います。行事に参加するとき、参加する・しないで迷う方がいますが、誘うと、参加する。参加してもらおうと「楽しい」という感想が多く聞かれております。だから、行事を選択するにあたっては、これから慎重に考えていこうというふうに思います。この会を通じて、また区が更に良くなっていくことを期待しております。

**木下委員** こんばんは。中沢区より参りました木下亜紀と申します。よろしくお願いいたします。アンケートの結果など、お話を伺いながら、いくつか事務局に確認したいことを申し上げたいと思います。

まず、アンケートの結果に基づいてグループワークというのは進められるのかということをお教えいただきたいと思っております。疑問に思ったのは、アンケートから抽出された課題という、大きな分類がいくつかありますけれども、それ以外にも現状、他に課題があるかもしれない。それをどうやって、ここに集まっている委員の皆さんの意見などを踏まえながら抽出していくのかという、プロセスをお教えいただきたいと思っておりました。現状分析がすごく大事だと思うんですね。

特に第5次総合計画にも提示されてる大きな、市が今後、中期的な計画とか、あるいはその人口の将来像、20年後、30年後、各地区がどれぐらいの人口になっていくの

かというベースラインがないまま、目の前にある問題だけを議論しても、将来に向けた建設的な解決策が出てこないのではないかと思ったんですよね。

ですので事務局からぜひそういった、ベースラインのデータを提示していただきたいと思います。それが一つ。

それからですね。2年間の会の最後には、提言というものを取りまとめるということになっています。その提言書というのは、その後どうなるのか知りたいと思います。ただ提言書としてまとめられるだけで終わってしまうのか、それとも、市が例えば、各自治組合に「こういう意見を取り入れてください」というふうをお願いするのか、あるいは単なる提言書で終わってしまうのか。それが実際の自治組織の運営に反映されないと、あまり意味がないと思ったんですよね。

そうですね。大きく言えばそのあたりが気になったところなので、事務局からご教示いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

**森岡座長** また次回以降ということでもよろしいですか。今日のご意見をいただくだけで。続けて参ります。

**小池委員** 東伊那区の区長を命ぜられて、4月から現在までやらせていただいております。小池と申します。とうとう私も、この年になって区長をやる羽目になってしまったというのが今の現状でございます。

やはり、アンケートにありましたように、役員としての負担が非常に重いか、そういうイメージがあって、なかなか引き受け手がいない中で、やりましょうという決断をして、今の経験をもとに進めています。その経験談の中で、一番この会議の中で方向性だけは、きちんと私達は全員で共有していかなければいけないなということを感じました。

4月から12月までやった中で、各地区、あるいは自治組合で一番大事なものの、駒ヶ根市でも一緒にパイプ役となって、一番大事なもののというのは、住民、区民の安全確保、安全安心確保です。従いまして、土砂災害だとか、いわゆる災害といった時に、いかに誘導して、コミュニケーションを持って住民を安心な場所に移動し、安心してもらうかという、コミュニティを形成するというのが、区でもあり自治組合であるということ、私もこの中で一番経験しました。

それと、楽しいことを、みんなで祝うということです。20歳を祝う会、あるいは敬老のご年配の方。あるいは高齢者の方が、体が不自由であったならば手を差し伸べて助け合いをする。そういうところが、区あるいは自治組合としての一番メインのところではないかと感じます。

それ以外の、今まで話がありました、時代に合わせた合理化。書類だとか、伝達方法だとか、あるいは開催の回数だとか。そういったものを、やはり今の時代に合ったように、改善をしていくと。そして、一番今自分もそうなんですけれども、私も任期が終わったら、「はい、終わりました」ではなくて、自分がやってきたやり方を次の世代の来年の役員の方たちにも、今までのやり方から少し合理化して、少しでも負荷を少なくやっていこうという形で、今、自分たちもチームを組んでやっているんですけれど、そういった思いを常に継承して、負担を軽くしていくという知恵を持ちながら、次の方に引き継いでいくというものだと思います。

この会議が、皆さんの知恵を出していただく中で、そんな、スリム化あるいは合理化、やりやすい仕組みが展開できれば一番理想的だと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。以上です。

**伊藤委員** はい。私から公募の扱いにります。町4区に住んでおります伊藤研児と申します。よろしくお願いいたします。私は2年ほど前、まだ2年弱なんですけれども、妻と子供がいる中で、単身で駒ヶ根の地に移住して参りました。最初は右も左もわからない状態で、単身でくるということで、アパートを探したんですよね。そのときに、自治組織というのがあるらしいという話を聞きました。移り住んでみて思ったのは、ゴミ出しは、アパートでは管理費の中にゴミの回収が業者に任されていて、週に1回全部集めてくれる。そうなったときに、自治会には、どういう意義があるんだろうかと疑問に感じていました。

実際に自治会に入る、入らないといったときに、誰とコンタクトを取ったらいいのかも分からないし、実際、中で何をやってるかというのも分からないというのが正直な感想です。

2年近くこちらに住んでいましたので、他のコミュニティにも参加させていただいています。その中で自治組織に関しても、いろいろお話を聞いています。自治組織、駒ヶ根市の全体として、問題になっているところで、それから各地区ですね。でもそれぞれ個別の問題点があるのだらうと思います。この自治組織というのが地域のコミュニティの中で重要な役割をしているということも聞いています。まだ、そういう声は一部しか聞いていないと思います。今回のこのアンケート結果も、ベテランの経験者の方の話とも聞かせていただいて勉強させていただきたいと思います。

それから、私は東京に実家があり、家族が住んでいます。そちらの自治体の様子も、皆さんにお伝えできると思いますので、今後ともよろしくお願いします。

もう一つ、このアンケートの感想ですが、ぱっと見えて、資料がいっぱいまとまっていて、すごい頑張ったんだなというところで、ありがとうございます。

ただ、読む方も大変ということと、結構お金がかかっているのかなと、そんな事を思いました。

一番、目についたのが、年代別で持ち家率と加入率というのが、ぴったり数字が合ってるんですね。それはやはり、私が最初に言ったゴミの問題。ゴミ出しが、戸建てだと集積所に持っていかなければいけないという事があると思うので、同じ市民の中で公平に分担する、ということを考えていったらいいのではないかと個人的には思っています。今後ともよろしく願いいたします。

**中澤委員** こんにちは。

私は今年の4月に駒ヶ根市に越して参りました。仕事は公務員で教員をやっております。その立場から意見を言わせていただけたらと思います。先日、広報駒ヶ根が届きました。12月号を見ると、駒ヶ根市の現状がちょうど載っておりましたので、今日、持ってきました。これを見ると、2040年度、子供たちは1000人減り、働き盛りの世代は4000人減って、でも高齢者の方が300人から400人増えると。こういった状況があるということが分かってきました。

いろいろな話を聞いていく中で、組織の在り方であったり、合理化等を進めていかないと、子供たちに引き継いでいく地域というものがなくなっていってしまうのではないかと。そういったことを感じて、少しでも子供たちのためになることができたらいふ思いで参加させていただきました。

まだ街のことは良く分かってませんが、少しでも意見を出したり、是非、駒ヶ根市のためになることが、子供たちの将来のためになることができたらいふと思っています。よろしく願いします。

**森岡座長** すいません、ちょっと時間も、8時半という事務局の予定で、迫ってきたものですから、次回以降またお話しできると思います。是非とも簡潔にお願いできればと思います。すいません。

**中村（哲）委員** 皆さんこんにちは。公募からで下平区に住んでおります中村と申します。

簡潔にということで。先ほどの事務局からのアンケートの分析結果に関する感想を何点か申し上げたいと思います。

三つほど要点が絞り込めて、役員の負担が大きいとか、活動をスリム化するとか、行事の参加、寄付に強制を求めないといったような項目があったと思うんですけど、もう少し、具体的にできないかなと思うんですよ。

役員に負担があるといっても、ここに参加するといった、物理的な、時間的な問題なのか、参加すること自体の金銭的な負担なのかというのが分かりません。どういった割合で負担と言ってるのかということも分かりません。

あと、活動のスリム化というのも、それはそれでいいと思いますが、あまりスリム化すると、何もしない、活性化しないというのも、本末転倒なのではないかと思うので、どこまでスリム化するというのを、ゴールというか、明確な、展望というものがあるならば、それも共有をお願いしたいです。

行事の参加、寄付に強制ということが、なかなかすごい言葉使っていると思ったんですけど、本当にあったのかが、よく分からなくて疑問に思ったというのが私の感想となります。

私もこの駒ヶ根に住んで数年ですけど、大好きなこの街なので、本当に子供たちのためにも、皆さんと目的意識を持って、楽しくより良い地域社会へと発展させていけたらなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

**水野委員** お疲れ様です。私もこちらに7年前ぐらいに来ました。当初、組長から地域に入らないかというお誘いがありました。話を聞くと、それには参加費用がいると言われましたので、参加費用まで払ってわざわざ入る必要もないじゃないかという事でやめました。

それから、ゴミステーションへゴミを出すのに、自治会に入っていないと出せないということで、今は準会員で入ってます。準会員になってもう何年でしょうか。3年ぐらいは大田切（リサイクルステーション）に出しました。なかなか、これも大変だなということで、金は出してるので、街のゴミステーションに出すようにしました。

他にはこうやって見てみると、ここは何町の何丁目の何組のゴミステーションだから、その組以外のものは出すなというのが貼ってあるところがあります。これも、何かおかしいなと思っております。

何を言うか簡潔にということですが、はい水野です。公募でありまして、だから今現在は入っていません。私、今日集まってみて、4人ですよ。ここの人は大体入ってないんですよ。ちょっと私のイメージと違ったんですよ。もっと公募がもう少しいて、未組織の人がいて、それがいかに、どうしたら組織に入れるか。入るようにするかということのをですね、こうやったら、組織に入りたいな、で、組織に入っている人はもっと魅力的にして、先ほどからずっと皆さんが言われてるように、脱会だとか、不満だとかということのを、入っている人は、どうしたらそれが少なくすることができるかと、なくすることができるかというグループなのかと思ったんですよ。

ただ全然ちょっと違ってました。だから、それがちょっと自分にはあまり納得できないのかなということですよ。

**菅沼委員** 町二区の菅沼と申します、よろしく申し上げます。

企業推薦ということで、商工会議所の方から、私は平成16年に町二区の区長をやったので、その関係で多少知識があるだろうから行ってくれと頼まれてやって参りました。

もう20年前ですので、その当時は、まだこの問題は余り大きくなくて、一番の問題は、ゴミの分別のことで、とにかく環境美化は、大変な思いをしました。

それと、こういう委員会に参加するのも実は何回目かですが、一番苦い思い出は、PTAの役員をやった関係で、中学校の通学区問題の検討委員にならされまして、それを5年間やりました。結局、最後どうなったかという、意見を並列にして、それを出して、それが提言書と。何のために5年間もやったんだと思いました。

先ほどあちらの方が言われましたけど、この会議も、最後の提言とか、結論をどういうふうに持って行って、どういうふうに使っていくのかというのが非常に重要なことだと思います。以上です。

**庄村委員** 長野県看護大学看護学部2年の庄村萌々と申します。よろしく申し上げます。私も言いたいところは一つですけど、まず、この会議をやる目的とかビジョンが余り明確ではないと感じました。本当はまず第1回のこの会議でしっかり周知していただきかったなと思いますが、次回からお願いしたいです。あとは、せっかくいろんな経験を持った方が集まっているので、少しでも時間とお金を有効に活用できるようにしていただきたいと強く思います。

**奥谷委員** 今年の3月に千葉県から移住してきて、駒ヶ根市に約9ヶ月しか住んでない新参者になりますけれども、今回こういった会に参加させていただくということで、自分のフレッシュな意見を役立てられればと思っています。

今回の会議について、感じたことが二つあります。このアンケートは本当に膨大な資料でまとめるのはすごく大変だったと思いますが、この場で説明するのではなく、事前に会議の前に送っていただいて、各自見てきてもらい、ポイントだけ説明すれば、もっと皆さんも言いたいことが多分いっぱいあるけれど、2分以上になって、時間も遅くなってということなので、テーマとかを事前に教えていただきたいというのが一つ。

あと、折角こうやって集まって話しているので、最終的に、この提言書の提出が、私もどうなるのかなというのが気になっています。思い切って一つか二つ実行して、何か変わったことを実感できることが大事ではないかと思いました。以上です。



**金村委員** 子育て世代の推薦をいただきました金村真由と申します。

現在、私は子育て支援センターに勤務させていただいております、そちらで推薦をいただいて、やって参りました。

自分の話ですが、今、小学校1年生の息子の子育て中でして、子供に関して子育てという面から、何か少しでもお力になればと思いますので、よろしく願いいたします。

**中原委員** 中原と申します。ここまで皆さんの意見がいろいろ出たなと思いました。いろんなご意見があるんですが、これから、折角こうやって集まったので、何か前向きな方向へみんなを持っていくようになればいいかなと思っております。以上です。ありがとうございます。

**原委員** 町4区の原正彦と申します。市民活動支援協会で、この問題は8年前から鈴木明さんの申し出で、区長経験者の会ということで、8年前からずっとやっておりますが、結論は出ません。未だに出ておりません。ただ、膨大な資料は集めております。各区のお金の問題から、役員の問題、全部ありますので、今回ぜひ活用していただくとありがたいと思います。以上です。

**松井委員** 社会福祉協議会の松井といいます。お世話になります。2点だけ感想としてお願いします。

一点目ですが、社会福祉協議会として高齢者の支援ということで、サロン、集いの場を行っております。高齢者が地域で長く健康に過ごせるようなことを取り組んでおります。それがコロナの影響で3年ぐらい、そういう集まりが中止になり、高齢者の方もコロナになりたくないということで、出なかったという事になりました。その結果、高齢者の方の筋力や健康面が落ちてきたり、認知症が進んだりしたという事がありました。そういう中で、地域の皆さんのこういう力というのは、非常に大きいというのを感じました。

もう一点が、このアンケートの中で、高齢者の方ほど満足度が高いところがあり、若い方ほど不満とか未加入ということがあるのを見たときに、感想ですけれども、地区などそういうところが、高齢者には支援があるけれども、子育ての方とか若い方に対してのものが少ないのではないかと、それがアンケート結果にもなってるのかなと感じました。

以上です、よろしく申し上げます。

**向山委員** 駒ヶ根市消防団副団長を務めております向山と申します。

消防団の中で、新入団員の加入促進に関するプロジェクトのリーダーを務めております。先ほどからアンケートのお話もありますけれども、消防団と共通の課題も多いと感じています。この会議の中で消防団としての意見を言わせていただくとともに、会議で得たものを消防団に持ち帰って、またより良いものを作っていけたらと思っておりますのでよろしくお願いします。

**白戸アドバイザー** 松本大学の白戸でございます。次回お話をさせていただきますので、今日は余り喋らないようにします。

松本と駒ヶ根は仕組みが違いますが、松本は町会っていうのがあって、自治会に当たります。その町会の中に独立して町内公民館という公民館組織と二つありまして。私自身は、町会の隣組の役員を2回と、公民館の教養部長を2年と、防災部の避難輸送班長を1年やらせていただいて、PTAもやりましたし、少年団の保護者会長もやりましたし、断れないので。

それをやって、嫌だなんてたくさん思ってきました。あまりこういう自治会が「いや、絶対あるべきだ」というところではなくてですね、いろんな観点からまた議論に参加させていただければと思います。よろしくお願いします。以上です。

**森岡座長** それでは森岡ですけども、司会、座長ということですが、事務局の方から、当日の司会をやってもらえばいいよということで受けました。座長という名前だけど司会係と言われまして。今日、皆さんにご意見をいただきながら、事務局は8時半に終わりにしたいと思っていたと思うんです。本当は、最初の時間を皆さんにお知らせしておいた方が良かったのかなと思います。そんなことで、責任のない司会者ということで、やらせていただければと思います。時間通りに終わらせるように、なんとか工夫したいと思います。よろしくお願いします。

**岡田副座長** 皆様お疲れ様です。私も自分の入っている隣組がもう本当に高齢化で、私世代の、60代の夫婦が一番若いような隣組にいまして、日頃、自治会とか区の行事とか、いろいろ考えることもありますので、皆様のご意見をお聞きしまして、お勉強させていただきたいと思います。それで、2年後なり3年後に、より良い方向にいったらいいなと思っております。よろしくお願いします。

私も、副座長なんて仰せつかりましたけれども、何もわからない普通の主婦でございますので、皆さん、ご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

## 8 その他

**森岡座長** それでは続きまして8番その他、事務局より今後の予定をお願いいたします。

**事務局**

<今後の予定>

○第2回検討会

日時 令和6年2月14日水曜日19時

場所 市役所南庁舎大会議室

内容 白戸先生の講演 詳細につきましては通知を差し上げます。

○本日の会議内容・アンケート結果に対する、ご意見・ご要望・ご質問などありましたら、事務局にお寄せください。1月26日金曜日までに書面、ファクシミリ、メールなど、どのような様式でも構いません。

委員報酬の口座の報告書、必要な方はマイナンバーの手続きを受付お願いします。

**森岡座長** 事務局から、日程など依頼等ありましたので、ご確認をよろしくお願いたします。

事務局の案ですと、この後また委員の皆様何かご発言がありますでしょうかということですが、今日は時間もあるので、これで切らしていただきたいと思います。市長から一言。

**伊藤市長** 長時間ありがとうございました。これがキックオフであります。皆様方それぞれに思いがあること。しっかり受け止めました。こういうことで、まず出走しようということですので、これから忌憚のない意見を皆さんと交わしながら進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

## 9 閉会

**岡田副座長** 委員の皆様、お疲れ様でした。また白戸先生には遠いところからお越しくださしましてありがとうございました。これで自治組織の在り方検討会を閉会いたします。お疲れ様でした。お気をつけてお帰りください。